

関西SDGsプラットフォーム SDGsへの取り組みヒアリング

企業名	株式会社パン・アキモト
担当者	秋元 代表取締役、東 関西営業所長
会社概要	製造業(食料・飲料(酒類除く))
	「パンの缶詰」を販売
所在地	栃木県那須塩原市
資本金	3,500万円
従業員数	約60人

備考(ヒアリング結果抽出)

・SDGsよりも前からの取り組み。阪神淡路大震災がきっかけ。パンは消費期限が短いので、創業者から受け継ぐ「ものを大切に。困っている人への支援」の思いから、消費期限3年という「パンの缶詰」を開発した。

・非常用の備蓄品「救缶鳥」として販売。消費期限前に回収し、世界の飢餓地域への食糧支援に寄付することで、社会貢献と食品ロスの低減を実現。入替用に「また買ってもらう」ビジネスを回す。

・将来、「パンの缶詰」を日本の備蓄食のスタンダードにしたい。消費期限5年の新商品も開発。

SDGsへの取り組み

1	貧困	世界の飢餓地域への食糧支援
2	飢餓	世界の飢餓地域への食料支援
3	保健	
4	教育	
5	ジェンダー	
6	水・衛生	
7	エネルギー	
8	経済と雇用	ベトナム人スタッフの雇用
9	インフラ革新	
10	不平等	
11	持続可能都市	災害支援
12	生産消費	食品ロスの低減(パンの消費期限を飛躍的に拡大)
13	気候変動	
14	海洋資源	
15	陸上資源	
16	平和	
17	パートナー	多数のパートナーを巻き込んだ継続的に回転する仕組み



取り組みにつきコメント

「創業者の思い『ものを大切に。困った人への支援』が原点。SDGsより前からの取り組み」
 「基本は『モデル化』し、それを複写化する。『知恵』次第」
 「良いことをし続けるために、利益を上げる」
 「『われわれだけ』ではなく仲間を増やしていく。人のためになるから協力者が増える」
 「パン屋としてパンを光らせる。よいパンで社会へのお返しをできるか」
 「『社会性』を加えると、メディアをとらえやすい」